

問5 あなたが知りたいと思った情報が以下の情報源から得られましたか。

	十分に得られた	まあまあ得られた	あまり得られなかった	全く得られなかった	利用していない
1. テレビ (NHK)					
2. テレビ (民放)					
3. テレビ (地元ケーブルテレビ)					
4. ラジオ (NHK)					
5. ラジオ (民放)					
6. 新聞					
7. 雑誌					
8. インターネット					
9. 保健所					
10. 市区町村役場					
11. 都道府県庁					
12. 厚生労働省					
13. 友人・知人					
14. 医療関係機関					

問6 必要な情報を得るために、どこかへ問い合わせをしましたか。(複数回答可)

- |           |             |                |
|-----------|-------------|----------------|
| 1. テレビ局   | 2. ラジオ局     | 3. 新聞社         |
| 4. 出版社    | 5. 保健所      | 6. 市区町村役場      |
| 7. 都道府県庁  | 8. 厚生労働省    | 9. 医療関係機関      |
| 10. 友人・知人 | 11. その他 ( ) | 12. 問い合わせしていない |

問7 これらの感染症の流行が、自分の身近で起きると思いますか。

1. 思う
2. 思わない
3. わからない

問8 「最近、〇〇町のあたりでは原因不明の発熱で病院へ行く人が増えているらしい。何か悪い病気でも流行っているんじゃないだろうか」といったような真実であるかどうかどうわからない内容の噂話を聞いた場合、この話を誰かに伝えますか。

1. 伝える
2. 伝えない

3. わからない

問9 問8で(1)に回答した方に伺います。

・その噂を誰(どこ)に伝えますか。(複数回答可)

- |            |            |          |
|------------|------------|----------|
| 1. 保健所     | 2. 市区町村の窓口 | 3. 警察署   |
| 4. 消防署     | 5. 友人・知人   | 6. 家族・親戚 |
| 7. 勤務先     | 8. マスコミ関係  | 9. 近所の人  |
| 10. 医療関係機関 | 11. その他( ) |          |

・その噂の中に、個人を特定できるような情報(個人名等)が含まれていた場合、どうしますか。

1. 個人情報が出らないように伝える
2. 個人情報も含めて伝える
3. 誰にも伝えない
4. わからない

ご自身のことについてお伺いします。

問10 [性別]

1. 男
2. 女

問11 [年齢]

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～24歳 | 2. 25～29歳 | 3. 30～34歳 |
| 4. 35～39歳 | 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 |
| 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 | 9. 60～64歳 |
| 10. 65歳以上 |           |           |

問12 [居住地域]

1. 北海道
2. 東北地方
3. 関東地方
4. 中部地方
5. 近畿地方
6. 中国地方
7. 四国地方
8. 九州・沖縄地方

問13 [最終学歴] ※学生の方は、現在在学中の学校を選択してください。

1. 新制中学校、旧制小学校、高等小学校
2. 新制高校、旧制中学校、高等女学校
3. 短大・高専、旧制高校・専門学校
4. 大学・大学院
5. その他 ( )

今回の実験ブログについてお伺いします。

問14 健康危機に係る各種情報を伝達する場合、あなたの考え方に近いものをお選びください。  
(複数回答可)

1. メールで個人のネットワークで伝える
2. ブログに載せる
3. 個人のホームページに載せる
4. 口頭で家族や親しい人に伝える
5. 会社の仲間に伝える
6. 隣近所の親しい知り合いに伝える
7. 携帯電話のメールで親しい知り合いに伝える
8. 手紙やはがきで親しい知り合いに伝える
9. 町会や自治体の役員に伝える
10. 国や公共団体(都道府県地区町村)の窓口伝える
11. その他

問15 実際に利用してみてどう思いましたか。(複数回答)

1. 情報が偏っている
2. 検索がスムーズに出てこない
3. 健康危機の情報数が少ない
4. 民間の健康危機情報がきめ細かい情報がある
5. 民間企業からの健康危機情報に興味を持った
6. 健康危機の情報は過去の情報ばかりだ
7. テレビ、ラジオ及び新聞より情報の量が少ない
8. 参加型の情報提供の場を作って欲しい
9. 質量及び海外の情報も翻訳した物を提供すべきだ
10. 海外の健康情報が多い
11. その他

問16 この実験ブログについてどう思いましたか。(複数回答可)

1. 実験ブログの情報提供が適時更新されリアルタイムで提供されるので、危機時には情報提供としては最適である
2. 実験ブログの管理上、情報の安全・安心に注意が必要である
3. 実験ブログの便利さを感じた
4. 実験ブログの情報数が少ない
5. 実験ブログへの参加の手続きが不便である
6. その他

## 資料2. 情報伝播に関する調査プロトコル（ブログ実験も含む）の概要

### 健康危機情報伝達・普及啓蒙ヒューマンネットワークモデルシステム

#### 実証実験調査研究のお願いについて

#### 1 調査目的

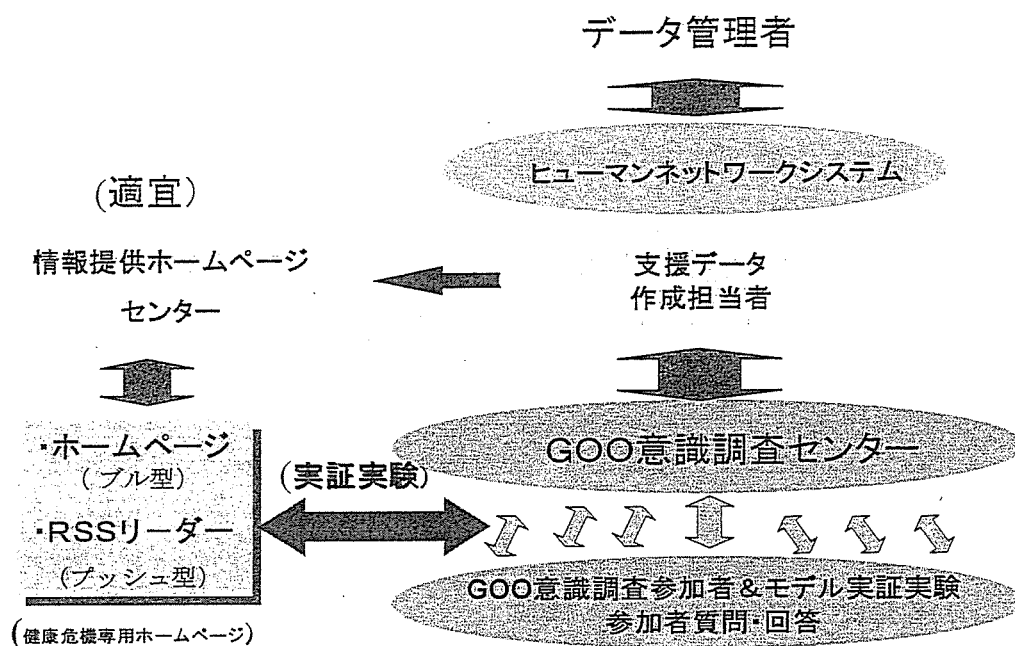
##### (1) 調査の目的

健康危機情報伝達・普及啓蒙ヒューマンネットワークモデルシステムでの実証実験に参加者の意見等を反映し、2日から3日の間のRssリーダーでの情報の伝達とホームページからの健康危機に関する検索等の使いかたで・要望等を実証実験で確認し今後の本調査研究の基礎資料を得ることを目的とする。

##### (2) 調査の参加について

- ① 地域の普及・啓蒙の手法として、ホームページ(Web)・ブログ(Weblog)及び社会ネットワークサービス(SNS)などの展開が見られる。こうした背景から本研究では、これら手法の特性を生かした調査を実施し、現時点のモデル手法として実施する。
  - ・ ホームページにアクセスして情報を取得するプル型手法
  - ・ ホームページにアクセスせずに情報を提供されるプッシュ型メディア手法どについて検討するために、国等で実施している健康危機情報に係る情報提供について、Web上で第三者の参加者による情報の周知度を確認し、情報の提供方式により情報の収集に差が有るのかの比較を実証実験調査として意識調査を実施しました。
- ② 今回で3年目の調査です。仕組みとしては、下記に示すスキームです。

## 図-1 健康危機情報伝達・普及啓蒙ヒューマンネットワークモデルシステム概要図



- ③ 実証実験のモデルシステムを作成して、健康危機情報に係る提供について、Web 上で第三者の参加者に健康危機情報を伝達の違いにより、提供取得と個人での仲間等への伝達方法について意識調査の中で確認するシステムを整備し、実証実験を行う。勿論模擬実験への参加について、当人の承諾の上で個人情報などに接触しない事を、周知確認し、参加者による情報の提供方式により情報の伝達について気が付いた点・不便なこと・要望などに差が有るのかの比較を実証実験調査として意識調査を実施する。

### (3) GOO を用いた参加型意識調査モデル実証実験質問・回答・手順

以下に意識調査の手順について説明致します。

#### ①意識調査参加

前回までの健康危機に参加頂き、回答頂きました参加者が対象です。

質問は、前回までの質問1～質問14までは、同じ質問です。

模擬実験参加者の有無を確認した上で、質問15～質問18が新たに情報の伝達、普及の実証実験への参加型質問です。

②「質問1問から質問14」までの質問です。

③「模擬実験参加者の有無」について確認頂きます。

④「模擬実験参加者の有無」で、参加しない方々は意識調査終了です。

⑤調査票の中の質問のアドレスをクリックして、

<http://www.stellaweb.co.jp/kenkoukiki.html>にすすみ、「ホームページへ参加」して頂き内容を確認して頂き、次の質問に進んで頂く。質問は、質問15から質問18までです。

⑥ホームページ（プル型）の参加者は、健康危機に関する情報検索について、興味ある内容について、選定した上で質問に回答頂きます。

⑦ホームページRSSリーダー参加（プッシュ型）の参加者は、RSSリーダーの登録をして頂き、2日、3日の実証実験を体験して頂き、質問15～質問18の質問に回答頂きます。

以下が、Rssリーダーへの参加方法です。

・ 「健康危機情報（実験ブログ）のURLは、

・ <http://blog.goo.ne.jp/kenkoukiki>

このパスワードは、「厚生」のローマ字小文字で6文字です。

<http://blog.goo.ne.jp/kenkoukiki> にアクセスし、右上にあります、

gooID に [kenkoukiki](#) と入力し、

パスワードに上記6文字を入力し、ログインボタンをクリックしてください。

そうしますと、健康危機情報（実験ブログ）の編集画面が現れます。

そこで、四角い枠で囲まれた、「今までの記事を編集する」もしくは「今日の記事を投稿する」をクリックしてください。

そこで、投稿する情報・コンテンツの、「タイトル」と「本文」をワープロの感覚で打ち込んで、一番下にある「投稿」ボタンをクリックすると、ブログ上に投稿できます。

その後で、最上部右端の「ログアウト」をして頂ければ、完了します。

この情報をWebのブラウザのように、見るためのソフトがRSSリーダーと呼ばれるものです。

このRSSリーダーを入手するには、<http://reader.goo.ne.jp/>

にアクセスしてください。

そこで、アプリ版RSSリーダーをダウンロードして実行して頂くと、「goo RSSリーダー」が立ち上がります。

「goo RSSリーダー」の最上部のメニューの左から4番目の「RSSサイト」をクリックし、プルダウンメニューの一番上にある「RSSサイトの追加」をクリックしてください。

そうしますと、そこにサイトURLを入力するようになっていきますので、そこに、

<http://blog.goo.ne.jp/kenkoukiki>

と入力してみてください。

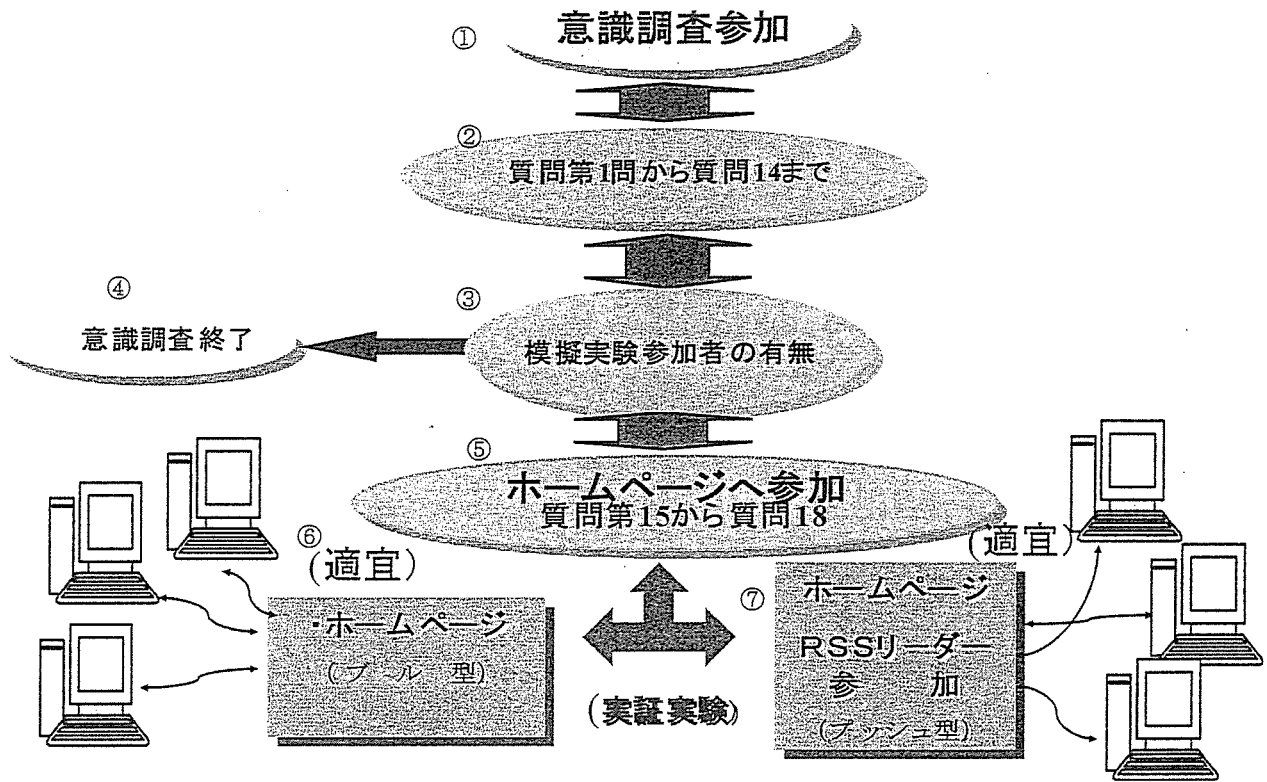
そうしますと、「goo RSSリーダー」の左側の大きなボックスのRSSサイトというところに、「健康危機情報（実験ブログ）」という項目が現れます。

そこをクリックしますと、時間順に最新情報が見えます。

このように、PCを立ち上げておくと、上記ブログの最新更新情報を自動的に常時入手することができます。

上記がRSSリーダーへの参加方法です。

図-2 GOOを用いた参加型意識調査モデル実証実験質問・回答・手順

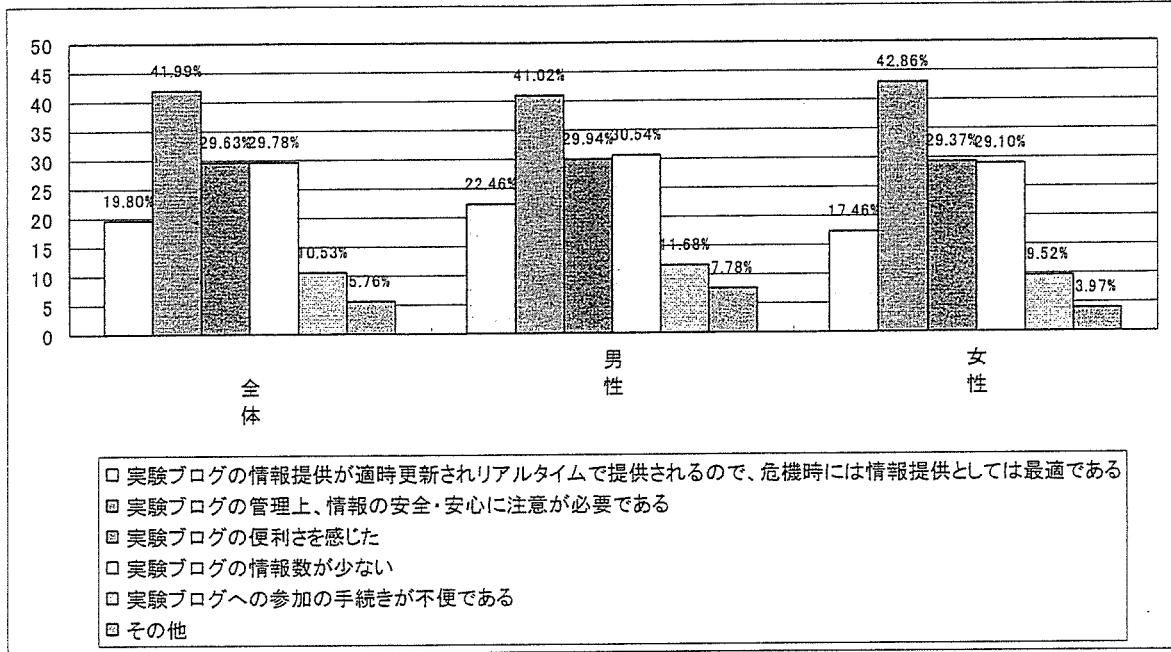




### 資料3 実験用ブログに対する評価概要

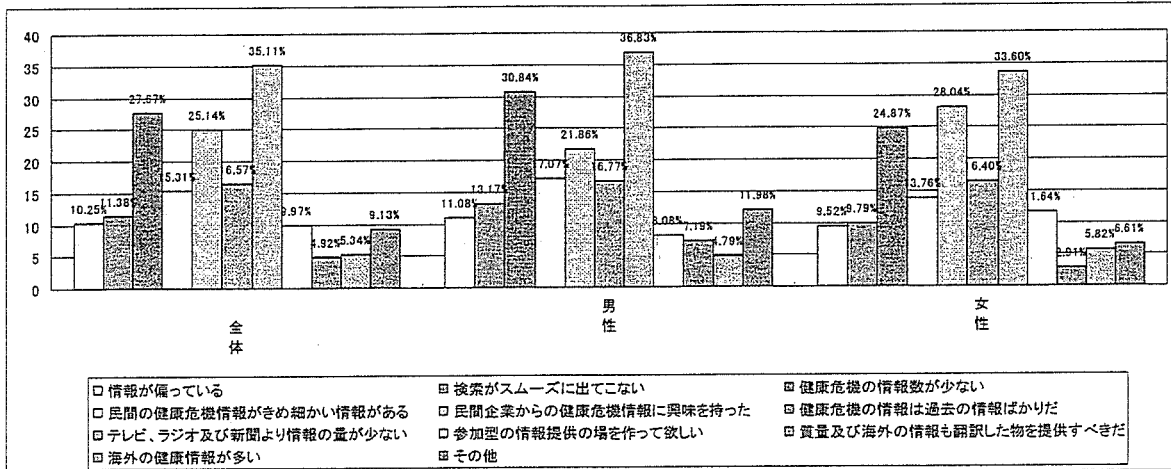
#### (1) 実験ブログへの総体的評価：

・下図に示すように、実験ブログには、約3割の方々が便利さを感じているが、その管理上、情報の安全・安心には4割以上の方々が必要であることを指摘している。



#### (2) 実際に利用した上での総体的評価：

・下図に示すように、そのコンテンツがプロトタイプ的な実験ブログであったため、情報数が少ないこと、テレビ、ラジオ及び新聞より情報の量が少ないことなどが指摘されている。一方で、民間からの健康危機情報に興味をもたれた方も多かった。



### (3) 自由記述による意見・コメント

新しい試みに対して、

- ・なかなか興味深い
- ・このブログを利用したい
- ・色々な情報が入手できる
- ・初めて読んだ 面白かった
- ・かなりの情報が得られ、見やすい
- ・新聞、厚生労働省の情報があって、信頼できる
- ・個人の感想だけではないので、良いんじゃないかな
- ・リンクが良くできている

などと、肯定的な意見がある。

一方で、

- ・さらにクリックしないとみれないので面倒くさい
- ・(リンク先の) お役所文書で読むのに疲れる
- ・(リンク先の) お役所のページは読みづらい。ポイントがつかめない
- ・情報の信頼性が担保されているか疑問
- ・情報が信用できるかどうか不明
- ・カラー、絵がない
- ・トラックバックはともかくコメントはどうするのか気になった (変なコメントも多そうだし)

などの問題点・課題が指摘された。

また、

- ・予防・対策情報がない
- ・地域別の情報や年齢別などの情報がない
- ・雇いやすい人の情報をもっと載せて欲しい。
- ・健康情報が少ない
- ・病名検索でツアー情報はいかがなものか？

など、コンテンツと今後の展開への要望なども見られた。

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
宮崎 元伸	The reliabirity of organizations that issue health crisis infomation and methods by which the general citizenry conveys infomation	Medical Bulletin of Fukuoka University	印刷中		2006年